

今日の  
アウ値  
腎機能編

# 離床前にチェック必須の腎機能に関する血液データ

～ 基本と注目のデータ ～

飯田 祥  
日本離床学会

## 腎機能低下の状態ですら離床してはダメ

高齢者になると、腎臓のネフロンは減少し機能は低下します。この腎機能障害を見逃してドンドン離床を進めると、倦怠感の増悪や循環不全などのリスクにつながります。ここでは、離床前にチェックすべき腎機能データを紹介します。



### 基本のデータ

#### 尿素窒素 (BUN)

アウ値：40.0 mg/dL 以上

#### クレアチニン

アウ値：2.0 mg/dL 以上

#### BUN / クレアチニン比

アウ値：20 以上

BUN / クレアチニン比は、尿素窒素 (BUN) をクレアチニンで除した指標です。BUN / クレアチニン比をみることで、腎臓に問題がある (腎性) のか、または、腎臓以外に問題がある (腎外性) のかを判断する指標として用いられています。BUN / クレアチニン比が 20 以上の時には中等度以上の脱水があると考えられます。

### 注目のデータ

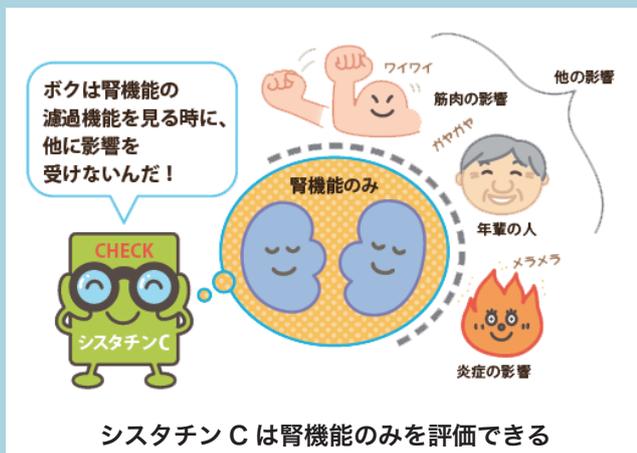
#### シスタチン C

アウ値：5.0 mg/L 以上

シスタチン C は全身の細胞から生成される、血清蛋白質の 1 つです。他の血中蛋白質と結合せず、糸球体でそのまま濾過されます。そのため、腎以外の影響を受けにくい新しい腎機能の指標として注目されています。

### 腎不全患者さんの離床の留意点

上記のデータから腎不全が疑われる時には、電解質の調整低下による意識障害や、致命的な不整脈を引き起こすことがあります。Na や K といった電解質をチェックし、必要であれば補正してから離床を進めるようにしましょう。



### 最新トピックス

#### 腎不全患者さんに対する離床の効果

保存期慢性腎不全ステージ 3-4 の患者さんに、12 か月の有酸素運動療法を行うと、身体機能向上に加えて、動脈硬化などのリスク因子に対する改善や QOL 改善の効果が報告<sup>1)</sup>されています。

1. Yasuhiro Takano et al. Preoperative serum cholinesterase levels as a risk factor of postoperative complications for the elderly undergoing emergency surgery. Surg Today. 2021 Apr 18.